

あかいら

No.363



2019. 2

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



今後の日程(3/1~4/5)

日付	曜日	行事	日付	曜日	行事
3/1	金		19	火	
2	土	2/25~3/3 No.234 古川 孝	20	水	3/18~3/24 No.433 岡 義博
3	日	☆県連総会(花巻市) ▲稲庭岳(銀世界)	21	木	
4	月		22	金	
5	火		23	土	
6	水	3/4~3/10 No.382 三浦 明夫	24	日	▲秋田駒ヶ岳(銀世界)
7	木		25	月	
8	金		26	火	
9	土	▲小松倉山(銀世界)	27	水	◎3月例会(勤労福祉会館)18:45~
10	日	▲室根山(名山)、▲姫神山(ゆうゆう) ▲早池峰山(銀世界)	28	木	
11	月		29	金	3/25~3/31 No.455 大倉 博
12	火		30	土	▲源太ヶ岳(四季)~31日
13	水	◎運営委員会(杜陵老人福祉センター)18:45~	31	日	▲源太ヶ岳(銀世界)
14	木		4/1	月	
15	金	3/11~3/17 No.416 福山 茂和	2	火	
16	土	▲岩手山(銀世界)~17日	3	水	◎第33回定期総会(勤労福祉会館)
17	日	▲鎌倉森(ウィーク)	4	木	
18	月		5	金	

原稿のお願い

3月号の原稿締切り

◎ 3月 9日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前迄とします。

原稿の基準

■サイズ:A4 山行報告は必ず1ページまたは2ページで作成をお願いします。

■本文枠:幅17cm・縦25cm または 余白:上・下25mm 左・右20mm

■本文のフォント:10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守ってください。

☆「かわら版」の原稿募集中!メール(原稿)のタイトルは「かわら版原稿」で送ってください☆

□送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No. 357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66 TEL 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No. 301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

年末年始に広島の大蔵島（いつくしま）神社に行ってきました。

高校生の息子との鉄道旅で、行きは青春18きっぷを使って普通列車（盛岡～広島）、帰りは普通列車（広島～岡山）・寝台特急（岡山～東京）・新幹線（東京～盛岡）を使いました。行きは、盛岡を12月30日の朝5時に出発し静岡に1泊、大晦日31日の夜7時に広島に着きました。2日間で乗換14回でした。普通列車なので各駅に停車しますが、そのたびに、地元の人が乗り降りし、その土地の言葉や匂いを感じるのが各駅停車の旅の魅力です。盛岡の早朝の電車では朝帰りの若者が、一関からは仙台へ買い物に行く若い女性が、仙台からは福島に帰省する60代ぐらいの男性が、宇都宮からは東京に行く家族連れが、東京では勤め帰りのサラリーマンが、それぞれ乗っては降りていきました。静岡から広島までは、大晦日ということもあり、ほとんどが帰省客や旅行客でした。自分たちと同じように青春18きっぷで旅をしている人は少なく、その半分ぐらいは東南アジア系の若者グループでした。みんな楽しそうに旅をしていました。そうした風景を見ながら、電車で揺られていると、自分が長回しワンカットの映画の中にいるような感覚になります。旅をしているときは、電車に乗っている時間がすごく長く、ムダな時間を過ごしているように感じますが、家に帰ってくると不思議な充実感がある。これって山登りと同じ感覚だと思いました。山登りも、登っているときは何でこんなことしているんだろうと思いますが、家に帰ってくると充実感があり、次はどこの山に行こうかと考えている自分がいます。自分の足でゆっくり歩きながら、風景を見て、匂いを感じることが出来る山登りは究極の旅の形かもしれません。いつか、どこかの長い縦走路をザックひとつで旅したいと思っています。さて、旅の目的である大蔵島神社へのお参りをすませ、無事盛岡に帰って来て、息子に「また各駅停車の旅をやる？」と聞いたところ、「新幹線がいい。」との答えでした。

もくじ

01	今後の日程（事務局）	09	山行報告 三つ石山スキー	内堀 孝信
02	縦走路 「各駅停車の旅」	12	山行報告 姥倉・鎌倉森	小野寺健一 三浦 良夫
03	運営委員会報告	13	山行報告 雪山入門講座：鶏頭山	小原 耕
04	事務局から	14	山行報告 森吉の樹氷群を楽しむ	大森 信慈
05	専門部報告	16	交流の広場	菊池 重頭
07	今後の山行計画書			
08	行ってきました			
08	志向別グループから			

2018年度 第11回運営委員会報告

■出席者：17名＋欠連絡2/22名 2019.2.13(水) 18:45～20:50 杜陵老人福祉センター

渡邊 三浦(明) 中村(美) 小野寺 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸) 千田
古川 山田(潔) 福山 渡部 松田(希) 岡(義) 大森 大倉

【進行:中村(美)、記録:中村(美)】

1 会長あいさつ

雪の少ない日が続いていますが、山には十分あるようです。

今日は定期総会に向けた総括・方針の検討に入りますのでよろしくお願いします。

2 報告事項・確認事項

(1)現在の組織状況(2月13日現在)

会員数93名(男48名/女45名) 家族会員…5名 会友…6名 登山時報3月号46部

退会者 NO,364 吉田菊男さん

(2)各専門部等の取組状況

① 山行管理委員会…ヒヤリハットの報告が1件あった

トレーニングで入山する場合でも、ルートははっきり示してほしい

② 救助隊…当会以外での事故情報があるが、雪が少ないからといっても十分注意してほしい

③ 教育遭対部…1/27 冬山入門講座(鶏頭山)、参加者7名(スタッフ含む) 釜石2名

④ 会報部…1/29 会報部員の勉強会を行った

⑤ 自然保護部…1/26 冬の自然観察会(鞍掛山)、

1/31 県教育委員会に報告、カモシカ10か所、ニホンジカ9か所

⑥ 県連報告…2/2 拡大理事会があった【出席:会長・理事の他 小田、小原、中村(美)】

3/3(日)県連総会、代議員10名必要【現在予定:渡部、大森、小野寺、工藤、中村(数)、
小原】後4人 部会で話し合ってください

3 その他報告事項

なし

4 協議・承認事項

(1)会装備品の保管者一覧表は総会議案書に掲載したい…今後変更の可能性があるので。

(2)HP ブログ、あかげら「専門部ページ」の掲載…HPは今新しいものを作成中の為、稼働できない。少し待ってほしい。あかげらの専門部ページには、自然保護部と教育遭対部が担当。

(3)定期総会に向けて各部の総括と方針を検討…主に各種講習会、登山教室、会山行などの反省と新しい方向性を話し合う。(折角計画しても会員の参加が少ないことで、担当専門部から計画を取りやめたいとの意見も出るが、良い計画はやめてしまわないで続けてほしい、時期や回数なども考慮しながら、もっと声掛けをしっかりとみんなで盛り上げていきましょうなど、活発な話し合いが出来ました。新しい方向性も見えてくる予感。3月の運営委員会に持ち越して検討することになりました)

第12回運営委員会は3月13日(水)杜陵老人福祉センターです

例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

事務局から

☆ 会員動向 (2/16 現在)

会員数 93 名 (男 48 名/女 45 名) 登山時報 46 部 家族会員…5 名 会友…6 名
退会者 No, 364 吉田菊男さん。1 月一杯で退会されました。

10 年間の盛岡山友会での楽しい山行を感謝しているとのことでした。

☆ 「登山時報」購読のお知らせ

年度替わりにつき登山時報の 4 月号は 3 月初旬に注文します。

登山の基礎知識や山岳情報など、登山を取り巻く情報が満載の登山全国連盟の機関誌です。まだ購読していない方の購読をお勧めします。新たに購読を希望される方、又は中止される方は 3 月 3 日までに事務局中村までお知らせください。(090-4318-5128 SMS 可)。連絡のない方は継続とみなします。

☆ 定期総会のお知らせ

第 33 回定期総会の開催について【重要】

盛岡山友会の第 33 回定期総会を以下の通り開催します。前年の活動総括と新年度の活動方針等を決めるもので、出席は会員の義務です。万障繰り合わせて出席ください。

やむおえず欠席される方は 3 月 27 日までに委任状を事務局に提出してください。

記

日時：2019 年 4 月 3 日 (水) 18:45～

場所：盛岡市勤労福祉会館

議題：2018 年度活動総括及び決算、2019 年度活動方針及び予算案ほか

☆ 委任状様式 (例)

盛岡山友会会長 様

第 33 回盛岡山友会定期総会委任状

私は、2019 年 4 月 3 日に開催する標記総会の議事、議案に関する一切の権限を議長に委任します。

2019 年 月 日

会員No. 氏名

◆当面の予定

2 月 27 日 (水) 2 月例会(勤労福祉会館)	3 月 27 日 (水) 3 月例会(勤労福祉会館)
3 月 3 日 (日) 県連総会(花巻)	4 月 3 日 (水) 定期総会(勤労福祉会館)
3 月 13 日 (水) 運営委員会(杜陵老人福祉センター)	

本日の例会進行・会場担当は 事務局です
3 月の例会は 3 月 27 日 (水) 勤労福祉会館 です

専門部報告

●教育遭対部

・雪洞訓練

ピッケル・アイゼン訓練とシート搬送訓練も行います

日 時 : 3月21日(祝日)

場 所 : 網張温泉付近

申し込み : 363 小野寺健一 090-2021-1632

締め切り : 3月15日(金)

・8:00 集合、車は網張温泉ビジターセンター、下の駐車場に停める

・持ち物

冬山の日帰り基本装備、昼食

ピッケル、アイゼン、輪かんじき、ストック、スコップ

持っている方はカラビナ、スリング、細引き

●自然保護部

2019年1月26日(土曜日)

自然保護部で冬の自然観察を実施しました。

天気は晴れて穏やかな観察会でしたが、参加者は6名とちょっと寂しい観察会になりました。

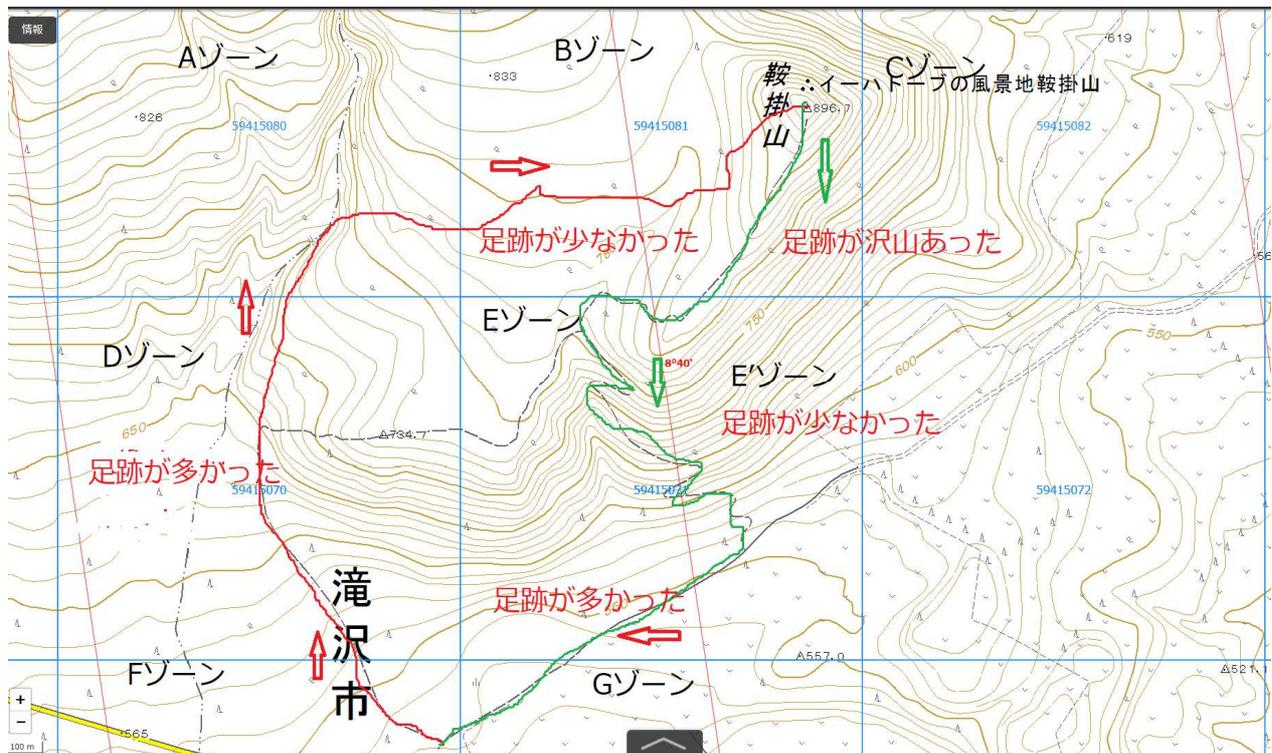
お山の湯付近でリスを見かけた人もいました。

ゆっくりの山行で沢山の足跡が見られましたが、ウサギの足跡以外はキツネか他の動物かの

区別が付きませんでした。次回の観察は多くの人に参加できるように計画を立てたいと思います。

自然保護部 部長 大森

文責 岡





ウサギの足跡



ウサギの方向転換



キツネ?



ウサギとキツネ?



今後の山行計画

※ 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

実施日	山域・ルート (市町村)	企画	目的	難易度: 歩行/荷物/技術	締切日	打合場所	申込先
		問合せ	コメント		打合日時		
3月3日 (日)	稲庭岳 (二戸市)	グループ 銀世界	稲庭岳を滑る	★★/★/★★	2019/2/25	勤労福祉会館 例会	090-5841-7547 SNS 武田秀雄
		武田秀雄	天台の湯または稲庭キャンプ場から稲庭岳南斜面を往復します。		2月27日(水) 18:30		
3月9日(土)	小松倉山 (宮古市)	グループ 銀世界	雪山を滑る	★★/★/★★	3月4日	勤福 銀世界 界定例会	090-7068-1104 大峠茂
		大峠茂	網張スキー場からすぐの山です。		3月7日(火) 18:30		
3月10日 (日)	室根山 (一関市)	岩手名山歩 こうかい	県南の最高峰に登る	★/★/★	3月3日	おでつて2F	019-635-0201 千田勝則
		千田勝則	新春の海を見てこよう		3月4日(月) 18:30		
3月10日 (日)	姫神山 (盛岡市)	ゆうゆう	冬山体験	★/★/★	3月2日	おでつて2F	080-6542-8871 433岡義博
		岡義博	姫神山の冬を体験		3月4日(月) 18:00		
3月10日 (日)	早池峰山 (宮古市)	グループ 銀世界	冬の早池峰を滑る	★★★/★/★★	3月4日	勤福 銀世界 界定例会	090-8923-3120 古川孝
		古川孝	門馬から入り、アイオン沢を登るロングコース、頂上で感動しませんか。		3月7日(火) 18:30		
3月17日 (日)	鎌倉森 (雫石町)	ウィークデイ クラブ	雪山の体験	★★/★/★★	3月8日	おでつて2F	019-635-3203 (FAX可) 工藤敬子
		工藤敬子	積雪期限定の山です。犬倉山を経由して周回します。		3月11日(月) 18:30		
3月16日 (土)~ 17日(日)	岩手山 (滝沢市)	グループ 銀世界	岩手の名峰の冬姿を愛でる	★★★★/★★★/ ★★	3月4日	勤福 銀世界 界定例会	090-6250-0864 (SNS) 小原 耕
		小原耕	網張温泉から御苗代を通過し、山頂を目指します。		3月7日(火) 18:30		
3月24日 (日)	秋田駒ヶ岳 (秋田県)	グループ 銀世界	新ルート開拓	★★/★/★★	3月4日	勤福 銀世界 界定例会	090-7073-8822 山田潔
		山田潔	旧スキー場上部から、林道を使わないで直接男女岳を目指します		3月7日(火) 18:30		
3月31日 (日)	源太が岳 (秋田県)	グループ 銀世界	源太が岳の大斜面を滑りましょう	★★/★/★★	3月25日	勤福 銀世界 界定例会	090-8784-4287 (SNS 銀世界掲 示板 メールなど) 久保加世子
		久保加世子	ルートは松川からの往復を予定していますが、他に希望があればメンバーで検討しましょう。		3月27日(火) 18:30		
3月30日 (土)~ 31日(日)	源太ヶ岳 (盛岡市)	四季の山	冬の泊まり山行	★★★/★★/★★	3月20日	おでつて2F	019-625-0180 090-7560-6261 石澤妙子
		石澤妙子	松川温泉口より入り大深山荘に泊まります。		3月25日(月) 18:30		

あかげら 3月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
 No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは3月10日(日)です。

行ってきました!

〔1月14日～2月17日現在〕

ルート	目的	参加者名	会員	分類
	フリークライミングツアー	高橋(英) ※ワソムーブ企画ツアー	1	他団体
猪去口～クロビ経由～山頂往復	雪山山行を楽しむ	L 工藤(敬)・S 日比野・中村(美)・石澤	4	個人
城内コース	トレーニング	L 岡(義)	1	個人
相ノ沢コース	トレーニング	L 高橋(英)	1	個人
ラ・フランスコース	トレーニング	L 岡(義)・S 高橋(恵)・太田代	3	個人
相ノ沢コース(右回り新コース)	冬の自然観察会	L 本間(典)・S 日比野・工藤(敬)・中村(美)・北田・岡(義)	6	会
網張スキー場～姥倉～鎌倉森～網張温泉館	三つの山を滑る	L 舟越・S 小原(耕)・S 村田・山田(潔)・大峠・三浦(良)	6	志向別G
岳コース	冬山入門講座実技	L 松田(幸)・S 中村(数)・S 小原(耕)・遠藤(千)・内堀・松田(希)・小野寺	7	会
相ノ沢コース	トレーニング	L 高橋(英)	1	個人
相ノ沢コース(東側往復)	トレーニング	L 石原	1	個人
中央コース～山頂～神社コース	トレーニング&里山の散策	L 加藤(桂)・S 小田(春)・小田(嘉)	4	個人
城内口～岩潜～山頂～笠石～城内	トレーニング	L 岡(義)・S 太田代・高橋(恵)	3	個人
網張スキー場～姥倉山～犬倉山～網張スキー場	トレーニング	久保〔会員外〕2名	1	個人
網取ダム～高森山～高洞山～上米内駅	トレーニング&里山の散策	L 小田(嘉)・S 中村(数)・工藤(敬)・熊谷(久)・級木・加藤(桂)・高橋(陽)・小田(春)	8	個人
相ノ沢コース	トレーニング	L 高橋(英)	1	個人
阿仁スキー場～ゴンドラ～山頂往復	森吉の樹氷群を楽しむ	L 大峠・S 古川・S 舟越・山田(潔)・内堀・武田(秀)・大森・三浦(明)・村田	9	志向別G
網張ビジターセンター～山頂往復	鎌倉森スノーシューを楽しむ	L 渡邊(健)・石原	2	個人
泉民の森～七滝往復	トレーニング	L 岡(義)・S 高橋(恵)・太田代	3	個人
蔵王ロープウェイ～熊野岳往復	他山岳会(四季山岳会等)との交流	舟越〔会員外〕8名	1	個人
秋田八幡平スキー場～陵雲荘往復	八幡平の樹氷群を楽しむ	L 久保・S 小原(耕)・山田(潔)・内堀・村田	5	志向別G
天元台ロープウェイから夏道分岐往復	他山岳会(四季山岳会等)との交流	舟越〔会員外〕8名	1	個人
仙岩トンネル口～仙岩峠往復	モフモフの雪を滑る	L 松田(幸)・S 大峠・古川・松田(希)・三浦(良)	5	志向別G
上米内駅～山頂往復	盛岡近郊の冬山に登る	L 岡(義)・S 太田代・小田(嘉)・小田(春)	4	志向別G
矢巾温泉コース	里山の冬山に登る	L 熊谷(久)・S 日比野・中村(数)・小田(嘉)・小田(春)・高橋(陽)・加藤(桂)・大倉	3	志向別G
相ノ沢コース	トレーニング	L 高橋(英)	1	個人
集いの森～山頂往復	トレーニング	L 岡(義)・S 高橋(恵)・太田代	3	個人
旧八幡平スキー場～恵比寿森～茶臼小屋～陵雲荘往復～茶臼小屋～縦山～旧八幡平スキー場	八幡平の樹氷を見る	L 古川・S 村田・山田(潔)・内堀・大峠	5	志向別G
深沢コース～山頂～峠コース	雪山山行を楽しむ	L 工藤(敬)・S 中村(数)・中村(美)・石澤・日比野・熊谷(久)・級木・加藤(桂)・小田(嘉)・小田(春)・佐々木(善)・高橋(陽)・大倉	13	志向別G

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください

志向別グループからの お知らせ

志向別グループからのお知らせ

「岩手の名山歩こうかい」と「四季の山」の今後の予定を決めます。

是非、行きたい山や意見をお聞かせください。

日時・場所 3月5日(火)18時30分 杜陵老人福祉センター

山行報告



三ツ石山スキー報告

(山域) 岩手山周辺 三ツ石山

(日時) 1月12日(土曜日)～1月13日(日)

(天候) 1月12日:曇り時々晴れ 1月13日:快晴(風無し)

(コース) 1月12日:網張スキー場10番標識～大松倉山～三ツ石山荘～三ツ石山～三ツ石山荘
1月13日:三ツ石山荘～三ツ石山～三ツ石山荘～大松倉山～網張ビクターセンター

(参加者) CL:山田潔・SL:舟越・古川・小原・村田・内堀(報告)

(コースタイム)

1月12日:スキーセンター 9:00～10番ポイント 9:25～三ツ石山荘 11:30/12:10～
三ツ石山 12:45～三ツ石山荘 14:10

1月13日:三ツ石山荘 6:20～三ツ石山 7:10/7:20～三ツ石山荘 7:45/9:20～
10番ポイント 10:30～スキーセンター11:20

(記録)

1月12日(土)

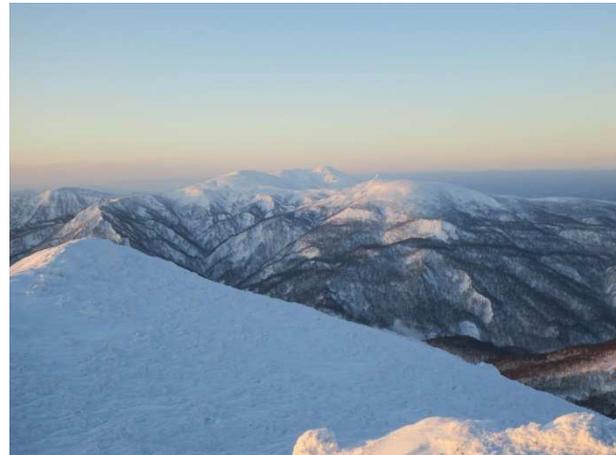
山スキー初デビューの私は、早めに網張スキー場に行って軽く練習をと思っていたが、年明け業務多忙から土曜日6:00少し前に起床。朝食を食べ出発準備をするが荷物の確認などに手間取って遅くなってしまい、スキー場に到着したので8:40頃で練習は出来ずまいである。共同装備の荷物を分け予定通り9:00出発となる。リフトに乗り継ぎ第三リフトから林間コースへ向かい、10番ポイントで止まり、シールを付ける。山スキー初心者の私は初めてであり要領が悪い。回数を熟さなくてはならない。ここでビーコンのチェックを行う。いざ出発である。先頭が付けてくれたルートをついていき途中、少し傾斜がきつくなり汗をかき始め体が温まってきた。皆は斜面により金具の調整をしてステップの調整をしている。私の金具は出来るのだろうかと思っていたが、ついていくのがやっとで金具の調整もできていない。ハムストリングに負荷が掛かっている。我慢して登ると大松倉山に到着して見晴らしが良い。振り返って岩手山を見ると雲の中で、時折雲が切れて岩手山の雄姿が見える。三ツ石山荘も見え、ここから下りである。シールを付けたまま、下るが思うように下れない。その結末は前から転倒してしまった。山田さんからは、金具を歩行から滑降モードへの変更を受けて滑り始める。悪戦苦闘しながら何とか三ツ石山荘に到着した。山荘の中に入り、まずは薪を上げ、ストーブに火をつける。ようやくストーブに火が入り始め温かくなり始める。昼食を取り一息入れる。いらない荷物は小屋に置き、最低限の物をザックに残し、外に出る。スキーを履き記念撮影を行い、出発する。途中、金具の調整をストックのグリップ先端を使用して、持ち上げると容易に出来ることをアドバイス受け実践した。何もかも初めてであり、覚える事は沢山ありそうである。三ツ石山まで登り、少しずつ傾斜がきつくなり、大きく曲がりながら徐々に高度を稼ぐ。傾斜が緩くなり三ツ石山まであと一歩である。最後は、スキー板を脱ぎ、三ツ石山に到着する。岩手山は雲の中、秋田方面も曇りで雪・風はなくまずまずの天候であろう。雪・風が無いだけでも御の字である。記念撮影後は、スキーを履いて登ってきたルートより左側斜面を降りる。皆様は綺麗にスプール描きながらドンドン進んでいく。山スキー初心者は、ザックの重さと、雪の状態から上手く滑れず、何回か転んでしまい。最後は疲れ果てて、起き上がるのも一苦労する。スキーが上手くない者は、更に疲れという惨い仕打ちである。ようやく下まで行くと、今度はシールを付けまた登り返すと言うことである。あれまあ。終わりでない。シールを付けまた、最後の力を降り注ぎ、登り、比較的平らなところでシールを剥がすが、シールに付けるメッシュが無い事に気が付く。多分、シールを剥がしたときに置いたのだと思った。習慣付いていない私は、これも経験である。忘

れないようにしたいと思った。2回目も疲れ果てて滑れず、転びようやくシール装着した場所手前で、舟越さんが発見して頂いた。有難いと言である。それを聞いてトラバースしながら小屋までゆっくり進む。小屋手前でスキー板を外しスキー靴になると沈み込み転んでしまった。あれま。ここに来て試練があるとは、ようやくスキー板をもって小屋に入った。小屋に入り、服を脱ぎ寝床の確保と毛布を準備して一息入れる。部屋は暖かく、ストーブの威力はすごい物だと実感する。食当の小原さんは手際よく、夕食・つまみの準備を進める。時間も早く到着したため、宴会スタートに躊躇していたが、我慢も続かず 15:20 頃からは、宴会モードに突入する。途中、つぼ足の方、2名が小屋に入ってきた。松川温泉から上がってきて様である。ご苦労様である。つまみが何回も回ってきてお腹一杯になり、とどめはトマト鍋とおじやである。途中、少し寝てしまった。ストーブで温かいためである。歯を磨き、そのまま、寝袋に潜り込むが暑くて剥がしてしまう。朝方少し寒くて寝袋を閉めた。

1月13日(日)

5:30頃起床して準備をすると、天気がいいため朝焼けを見に行くとの事。準備をして、小屋の外に出ると、雲一つ無い天気である。三ツ石山に登り、9合目辺りで早池峰山方面からご来光が見えた。すごい景色である。岩手山も良く見えている。全員、立ち止まり写真を撮りまくる。朝日が完全に出た後は三ツ石山に登り、360°ビューを堪能する。昨日は判らなかったが、樹氷がきれいに見える。茶臼・源太・烏帽子・秋田駒・早池峰・岩手山と続く。遠くに森吉・鳥海山が見える。古川さんは、ここ10年近くこの景色を見た事ないとのコメント。私は山スキー初めて、岩手の雪山初めてで何と付いていることか、これはビキナーズラックそのものである。写真撮影会は済んでお腹もすいたため、スキーを履いて三ツ石山荘まで一気にと言いたいところであるが、私は転びながら落ちていき、ようやく小屋に到着した。小屋では小原さんが朝食の準備を進めていた。野菜を入れラーメンを頼張り、空腹を満たす。落ち着いたところで片付け、出発の準備に取り掛かる。この小屋は暖かい。冬にもかかわらず薄着で入れられる。今まで来た冬山で一番暖かい。何時もはテントであり、夜は寒く、朝方霜を払いのけての準備であるが、ここは空間もあり贅沢な場所であろう。なごり惜しいが、スキーの板を履いて小屋に別れを告げる。大松倉山まで登り、その先は下りポイントまでは、シールを履いて進む。またシールを剥がしてん滑りである。転びながら進み、皆様の場所にまた、シールを付け登る。来た道とは別にピーク1318mに登り、そこから降りて、10番ポイントに出た。ようやくゲレンデである。山田さんからは、ゲレンデだよと言われやっと来たかと思った。最後はゆっくりスキーセンターまで下って行った。ゲレンデでも踏ん張りがきかず何とか降りた。スキーセンターで反省会を行い、記録を確認して、各自、感想を述べた。私は滑りでは皆様に迷惑をかけ待たせてしまった。少し滑りを練習して行かなければならないと思った。帰りは、一気に自宅に戻り、お風呂に入り汗を流し、疲れた体に鞭を打ち、洗濯・掃除と済ませ、千葉に自宅に帰宅した。山スキー初心者の私を参加させて頂き感謝以外ありません。次もこのような天気になることを期待して待ちたいと思う。







姥倉・鎌倉森

323 三浦良夫

日 2019年1月26日(土)

メンバー CL船越、SL村田・小原、装備山田、気象大峠、記録三浦(良)

コースタイム 網張スキーセンター(9:00)→第三リフト(9:40)→姥倉(11:00)→鎌倉森(12:25)→温泉館(13:40)→網張スキーセンター(14:00)

当日は天気も良く、風も無く、絶好の登山日和となった。数名のメンバーは集合時間前にゲレンデで一滑りする余裕を見せながら、予定通り9時に全員でスキーセンターを出発した。第3リフトを降りてから西に少し下がった広いスペースでシールを装着し、SLの村田さんを先頭に登山開始。犬倉山を北に巻いた後、姥倉を目指し樹林帯の中の緩斜面をラッセルしながら進む。高度1,700m付近で木が生えていない広い斜面に出、そこからは西側の尾根に取り付くために北西に針路を変え、順調に高度を上げていった。尾根に着くと這松の上に薄い雪が乗った状態になり、時々スキーが深く沈み込みえらく登りにくい。悪戦苦闘しながら少しずつ進むとまもなく頂上に到着した。

360度の大パノラマを楽しんだ後、早速シールを剥がし滑走開始。山頂付近は低木が生え滑りにくいですが、高度を少し下げると広い大斜面が待っていた。雪質も上々で、皆思い思いにシュプールを描く。滑り終わると食事かなと思っていたら、直ちにシールを再度着け、元来た道を引き返し始めた。犬倉山の東側を巻いて鎌倉森山頂を目指す。犬倉山の東斜面もいい斜面だが、今回はトラバースだけで終わりだ。

犬倉山の南尾根を下り、鞍部から少し登るとまもなく鎌倉森山頂に到着した。冬季限定と書かれた鎌倉森の標識を前に記念撮影し、早速滑走を始める。下りは尾根ルートなので幅が狭くコースを取りにくい。また、高度を下げるにつれ、雪質が湿雪となり、されに難儀しながら滑って行った。先行して温泉館付近に到着した山田さんと村田さんに遅れ、後の4人がようやく無事到着。とにかく皆疲れた様子だ。

さらにそこからスキーを担ぎ雪に足を取られながら、スキーセンターまで歩いて戻るのも結構大変だった。私的にも昨年3月以来の登山だったので、疲れて下山後はあまり言葉も出なかった。でも久しぶりの山行は楽しかったし、とても気持ち良かった。同行したメンバーに感謝したい。



姥倉山
頂にて



冬山入門講座《実技講習》鶏頭山

日時：2019年1月27日（日）

参加者：松田(CL)、中村(SL)、小原(SL)、遠藤、内堀、松田(希)、小野寺、〈東梅、小笠原/釜石〉

鶏頭山&冬山&実技講習＝天候が荒れる～吹雪。というのが私の印象でしたが、「この日は、なんといいことでしょう!!」時折青空も覗かせるくらいの天候に、思わず顔にも"笑み"が…。

本日、盛岡の朝の気温は-9℃、山頂では-15℃近いかと思われた。都南大橋の駐車場は、まだ闇の中、三々五々参加者が集まってきた。朝が白んでくるところ出発！大迫に近くなると、路面は完全なアイスバーン状態、『ツルって』ならないように慎重に早池峰に向けて車を進めた。

この道を通ることももうなくなるかと思うと、周りの景色も何か特別なものに思えてくる。リンゴの木、ブドウの木、山間部の田舎家、などなど。「こんなにも寒いところで、果樹が育つなんて。強いもんだ、甘やかされていない。」そうこうするうちにダム道の駅(?)に到着、トイレを済まして、「さあ行くぞー」と意気を上げる。

駐車場には、すでに3～4台の車があって、東梅さんと小笠原さん（釜石労山）も到着していた。ビーコンのチェックをして登山口へ、思いの外『雪が無い（少ないというより無い）』、この分だとすんなり避難小屋までは到着できるかと思われた。小屋でわかんを装着し、ここからが本領だ。多少の吹き溜りはあるものの歩きやすい。岩稜帯に出てニセ鶏頭の懐でアイゼンに取り換え、更に先を目指した。危ないところもなく、12時前にはニセ鶏頭に到着！いつもであればここで終了、風も強くて鶏頭山へのトレースは危ないので『帰りましょう!』となるのが常だったのですが。。



今日はどうでしょう、中岳まで見えるではないですか。これは、行くしかない！チャンス!! となって、全員で先の目的地鶏頭山ピークを目指します。

ほどなくしてピークに到着、みんなで記念撮影「パシャ！」こんなに順調に鶏頭山にこれたのは、『神様の思し召し?』岩手を離れる者へのプレゼントだったのでしょうか？と勝手に考えてました。



「さあ腹減った、小屋まで一気に下りるぞー」下りの足取りはみんな早かった。軽やかに足が上がり、「はい、到着!」、お待ちかねのお昼ごはんに「あ～、旨ーい」、山で食べるのは何でもうまい?? さあ、腹が満足したら、もうひと頑張りで登山口まで、ゴー！スムーズに下山したら、本日の冬山修練は終了です。途中の道の駅にて、参加者のミーティングで解散となりました。





森吉の樹氷群を楽しむ

No. 444 大森 信慈

2019年2月3日（日）曇り時々晴れ 無風

メンバー：銀世界9名（大峠（CL）、古川、山田K、舟越、内堀、武田、三浦A、村田、大森）

コースタイム：雫石運動公園駐車場 7:00⇒阿仁スキー場 9:00/9:30 ゴンドラ⇒ゴンドラ山頂駅
9:50/10:00⇒石森 10:40 撤退 ⇒ゴンドラ山頂駅 11:10（昼食）阿仁スキー場 12:30
⇒阿仁道の駅（反省会）⇒雫石運動公園駐車場 15:00

西側から三つの低気圧が北上する中、ゆるやかな高気圧に覆われた状況。午前中は良い天気であってくれという思いで、銀世界メンバー9名は早朝7時雫石運動公園駐車場を後にした。仙岩トンネルを抜けて秋田側にでると青空が広がり期待が膨らむ。例年より雪が少ないのでは思われるものの、国道105号線仙北市戸沢地区あたりから積雪が多くなる。しかし、峠を越え北秋田市阿仁地区に行くにつれ積雪は少なくなる。阿仁道の駅で小休止後、阿仁スキー場に到着。駐車場は既に多くの車で埋まっており驚く。ゴンドラに乗り、山頂駅に向かう。山頂駅までは時々青空ものぞき見通しはきくものの、それより上はガスっている。

山頂駅からいよいよ出発。山頂駅から整地された樹氷鑑賞コースにそって登山開始。山頂駅から5分程度登っただけで、日本三大樹氷群（他の二つは蔵王、八甲田）の一つを間近に見ることができるのが嬉しい。ちなみに山頂駅では無料でスノーシューとストックを貸し出しており、手ぶらで来ても30分程度で樹氷鑑賞コースを散策できる。コースから山頂に向かうルートへの分岐点で、ゲレンデのみ参加の大森は別行動。8人は山頂を目指す。



樹氷鑑賞コース



樹氷鑑賞コースから山頂を目指す

登ること40分ぐらいで石森ピークに到着。周りはホワイトアウト状態となり、天候の回復も望めないことから撤退を決断。山頂駅に引き返し、山頂駅休憩スポットで昼食を摂る。時折青空がのぞくもののついに山頂が姿を現すことはなかった。大森と合流後、樹氷鑑賞コースをしばし散策し、一気にゲレンデを下まで滑る。

残念ながら今年も快晴の樹氷群を楽しむことはできなかった。今回は、山頂駅の樹氷群パノラマ写真で良しとした。帰途、阿仁道の駅で反省会を開催し、下記により締めくくり山行を終了した。次回乞期待。

- 高気圧に覆われ、安定した晴天が高い確率で期待できる場合のみ計画を実施する



山頂駅より快晴の樹氷群（写真）を臨む

交流の広場

今回は、日常生活や、登山、旅行にも関係があると思われる内容の本を紹介します。

「人はなぜ道に迷うか」山口裕一著（筑摩書房）1995年に出版されたので、少し古いのですが、道に迷うという行動に対して不変的な事だと思うので選びました。内容は、序章に道に迷うことの定義を述べています。第1章から第5章までの内容になっていますが、簡単に見出し、小見出しを記載していきます。

第1章は、迷いの内と外という見出しで方向感覚、認知、慣性をもっている定位という小見出しの内容で話を進めます。

第2章では、イメージの内と外という見出しで、地図を使っても迷う、山の中の三つの事例、地図の読み違いと定位の慣性等の小見出しの内容になっています。

第3章では、地図・その内と外という見出しで、地図を見る目の内と外、投影法の内と外、外の中の目の内などの小見出しになっています。

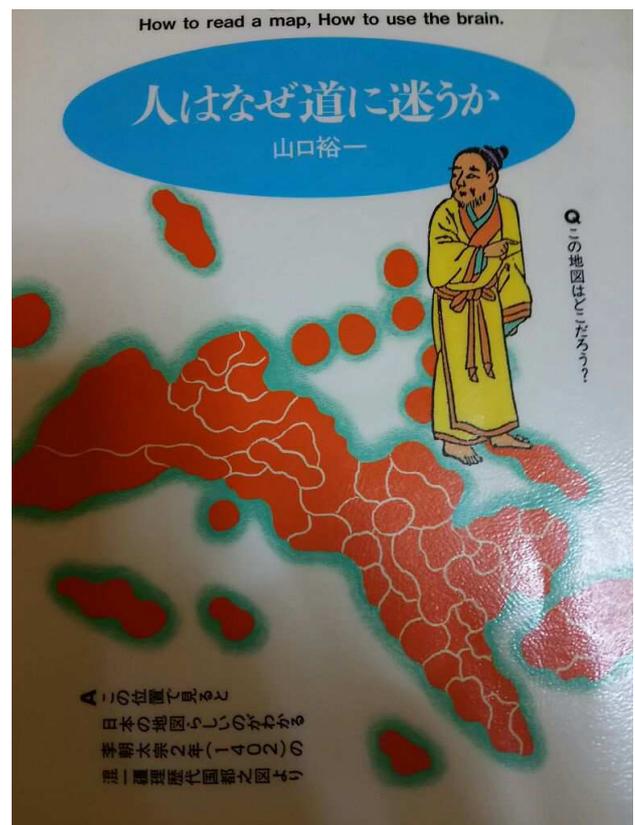
第4章では、大脳における右と左という見出しで、視点こそが糸口、左の脳もイメージする、地図を見る二つの目という小見出しになっています。

第5章では、現実世界の表と裏という見出しです。動物もまた道に迷うか、動物との違いは地図文化か、地図があるから迷うのか、現実世界を裏から見る、道に迷うことの進めの小見出しで終わります。

あとがきに、道という言葉について日本では、華道、茶道あるいは、明治以降も柔道、合気道等道をつけたものが多い事を述べています。この本では、地図があっても迷うことを著者の観点から述べていますが、私が一番その通りだなと思ったことは、迷うということは、自分の定位が分からなくなった時点に発生するという事です。納得する思いでした。これは、登山や旅行や知らな

い街に行った時だけではなく、人生においても同じではないかと思えるからです。生きていく上で、どちらを選択しなければならないような事が多々あるかもしれません。その時迷うのは当たり前かもしれませんが、もしその時の自分の定位を把握していれば、迷いは少なくなったかもしれませんし、遭難（人生の）を防いでいたかも知れません。本の内容の紹介を脱線してしまいましたが、読んで面白い本です。

(No377 菊池)



— 【仲間の有難さ】 —

「冬山中級講座で厳冬期の岩手山へ」という計画が出たとき、もう最後の機会かとも思い手を挙げた。
荷物を持てるってか？ 登れるってか？と、ちょっと意欲を削がれることを言われたそばから、大丈夫、荷物は持ってやるから！
ラッセルをしてあげるから！との暖かい応援の言葉もかけられた。
その言葉に励まされ決行！！ 軽いけれども共同装備も一応ザックに括り付けて最後まで登ることが出来た。この時の厳しい岩手山を私の宝として描いてみた。
自分にはできないかと思われることでも、仲間のこのような暖かい励ましの言葉で登ることが出来る。これが盛岡山友会の仲間の有難さである。

No,19 中村 美栄子

あかげら 第363号

2019年2月27日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

■盛岡山友会のホームページ■

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～